

企画展

地震災害を 考える

入場無料

＜開催期間＞ 2017年

開催期間延長

3月10日(金) から 7月23日(日) まで

＜開館時間＞ 9時30分から16時30分

＜休館日＞ 毎週月曜日（ただし、月曜日が祝日のときは翌日火曜日が休館）

＜会場＞

地図と測量の科学館

茨城県つくば市北郷1番 国土地理院構内

問い合わせ：TEL 029-864-1872

URL <http://www.gsi.go.jp/MUSEUM/index.html>

＜交通案内＞

- ・TXつくば駅から関東鉄道バス5番乗り場（建築研究所・下妻駅行）乗車、約10分、「国土地理院」下車
- ・サイエンスツアーバス……研究機関等を巡る1日乗降自由の周遊バス（土日・祝日運行）
- ・<http://www.gsi.go.jp/GSI/CONTACT-g-kotu.html>
- ・無料駐車場あり（大型可）

＜背景＞

上段 - 東北地方太平洋沖地震の浸水範囲概況図 石巻市付近の一部

中段 - 熊本地震における地理院地図による布田川断層帯周辺の地表の亀裂分布、電子基準点による地殻変動（上下及び水平）、震央の一部

下段 - 新潟県中越地震 1:25,000 災害状況図 山古志（地形分類及び災害情報）の一部

国土交通省国土地理院
URL <http://www.gsi.go.jp/>

企画展

地震災害を考える

これまで我が国は、幾度となく地震災害に見舞われてきました。

昨年4月の熊本県熊本地方を震源とする震度7の地震では、家屋の倒壊や土砂崩れなどにより大きな被害が発生しました。また、平成23年3月の東北地方太平洋沖地震では、津波等により多くの命が失われました。

過去を振り返っても、大正12年の関東大震災、平成7年の阪神・淡路大震災、平成16年の新潟県中越地震等各地で大きな地震が発生し、火災、家屋等の倒壊、土砂崩れ等の甚大な災害を引き起こしてきました。

私たちのくらは、地震の発生する国土の上で営まれています。

では、地震はどのようにして起こるのか？

また、日本で起こり得る地震とはどのようなものか？

そして、地震による災害にどのようにして備えるのか？

これらの疑問に答えることは簡単ではありません。しかし、国土を測る「測量」やその結果をわかりやすく表現する「地図」は、そのヒントとなる様々な情報をもたらしてくれます。

今回の企画展「地震災害を考える」は、測量・地図を通じて、「地震災害を知り、考えること」を目的に開催するものです。

展示の中では、日本の地形や海底地形を紐解き、地震の様々なメカニズムについて紹介します。また、地図や空中写真から過去の地震災害を振り返るとともに、電子基準点による地殻変動観測等の最新の測量技術と地震災害に関する様々な地図を紹介することにより、地震災害への備えについても考えていきます。

この企画展を通じて、測量と地図を様々な活用し、地震災害について皆様と共に改めて考えていくことができれば幸いです。

＜＜おもな展示の内容＞＞

- 地震災害の概要
- 近年の地震災害
- 地震災害に備える
- 過去の地震災害の復旧・復興に向けた取組
- 過去に発生した日本の主な被害地震
- 都市圏活断層図、災害現況図、揺れやすさマップなど